

情報セキュリティ 人材育成の現状

IBMビジネスコンサルティング サービス株式会社
技術理事 パートナー
大木 栄二郎



目次

- 1) IBMのテクニカルコミュニティ
- 2) IBMのプロフェッショナル制度とセキュリティ
人材育成
- 3) 情報セキュリティの取り組みについて
- 4) 国への期待

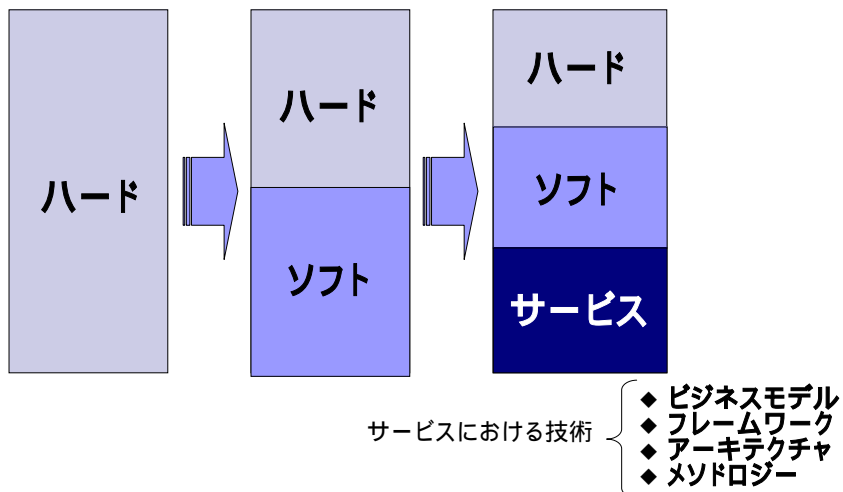
1) IBMのテクニカルコミュニティ

- IBM Fellow
- IBM Distinguished Engineer
- IBM Academy of Technology

- IBM Certified Professional
 - ICP Consultant
 - ICP IT Architect
 - ICP IT Specialist
 - ICP Project Manager

3

IBM Academy of Technology の人員構成



4

2) IBMのプロフェッショナル制度とセキュリティ人材育成

- セキュリティを専門とするProfessional
 - ICP Security Consultant
 - ICP Security Architect
 - ICP Security Specialist
- Global Community
Common Methodology
Dedicated Training
Knowledge Sharing
- IT Professional へのセキュリティ教育
 - All Profession Common Local Education
 - 管理者教育、一般社員のセキュリティ教育
 - 社員のアウェアネスは上司の責任

5

IBM コーポレートのセキュリティ組織

- 独自のグローバルコミュニティ
- 独自の教育体系
 - IT Security
 - Security Management
 - Security Audit
 - Penetration Testing
 - Forensic ... etc.
- IBM Security Manual

6

3) 情報セキュリティの取り組みについて

- セキュリティは幅広い取り組みを必要とする総合技術
- 全体を見渡すアーキテクチャの構築が重要
- 情報セキュリティのあるべき姿を描く必要がある
 - open, end-to-end, voluntary, standard based
- 監査などの評価検証が重要な役割を担う
- セキュリティマネジメントの確立は改善でなく変革
 - 組織単位とは別に個人単位の責任を明確にする
 - 情報を価値により分類する
 - リスク意識を磨く
 - 全体の包括的な機能体系を作り上げる
- グローバルに共通の体系、日本独自の方法論

7

4) 国への期待

- 技術開発の重点シフト
 - ハード -> ソフト -> サービス
- セキュリティ確立の推進策
 - 保証型監査の結果によりIT投資を減税あるいは免税
- セキュリティ人材育成の枠組確立
 - マクロ人材計画
 - キャリアパスモデル
 - 教育とキャリアパス、将来像
- 技術革新のスピードを妨げない施策

8